

「創意と活力」のある学校づくり推進事業報告

春日井市立 八幡小学校

事業テーマ	人とかかわれる児童の育成 ～みんなが行きたくなる学校をめざして～	
取組の目的	児童にとって学校生活の基盤となるのは友達や教師そして地域との人間関係づくりだと考えています。本校は「かかわり合い」をテーマに SST(ソーシャルスキルトレーニング)などを取り入れながら、「自分の考えをもち、伝え合いながら学びを深める児童の育成」を目指しています。	
区 分 (○印を付ける)	新規事業・ <u>継続事業</u> (総事業年数 3年間、3年目)	
事業名	事業内容	実施時期
・かかわり大作戦 「やわタイム」(SST) ・SST 研修 ・「かかわり」をテーマとした授業研究	<ul style="list-style-type: none"> 外部専門家の招聘 (研修会の開催、指導助言) 授業研究方法の工夫 授業分析 外部専門家による指導助言 教室環境・校内環境の整備(掲示物等) 	通年 通年 通年
<div data-bbox="231 1153 432 1227" data-label="Section-Header"> <h2>やわタイム</h2> </div> <div data-bbox="221 1232 1337 1803" data-label="Image"> </div> <p>本校では、子どもたちのコミュニケーション能力を高め、温かい人間関係を作るための時間として「やわタイム(SST:ソーシャルスキルトレーニング)」を 3 年前から継続しています。「やわタイム」で培った力を、日常生活や他教科の授業へ繋げるように指導を重ね、子どもたちの話す力がのびてきました。</p>		

SST 研修



今年度も名古屋英大学教授堀部要子先生を年間4回お迎えし、「かかわり」をテーマとした研修を行いました。最後の研修では本校が3年間取り組んできた「やわタイム(SST)」の成果を振り返り、子どもたちのコミュニケーション能力の現状を確認しました。また、教職員自らがSSTを体験することで、指導スキルの向上と、次年度に向けた課題の明確化を図りました。

取組みの成果

- ① 「聴く姿勢」の定着と深化
 - ・スキルとしての習得:「最後まで聴く」「うなずきながら聴く」といった具体的なアクションが全校で共通言語化され、基礎的なコミュニケーション技術が向上しました。
- ② 心理的安全性の醸成
 - ・親和的な雰囲気:「相手を知る(興味・関心をもつ)」場を継続的に設けたことで、クラス内に安心感が生まれました。
 - ・相互理解の促進: 普段あまり話さない友達の良さや趣味を知ること、多様性を認める土壌が育まれました。
- ③ 教職員の指導力の向上
 - ・柔軟なアレンジ: SSTを単なる「マニュアル通り」ではなく、学年や特別支援学級などの実態に合わせて独自にカスタマイズ(オリジナリティの発揮)できるようになりました。
 - ・SSTで培ったスキルを学習の中に取り入れて深い学びへとつなげることができてきました。

今後の展望

3年間「かかわる力」を育んできました。この積み重ねを次なるステップへ進めるため、次年度は「聴く力」にスポットを当てていきます。

「かかわる力」を育てようとする、どうしても「どう話すか」に目が行きがちですが、実はその土台にあるのは「聴く力」です。相手の話を丁寧に受け止める経験が、結果として「この人となら安心して話せる」という相互の信頼に繋がります。また、クラス全体で行うSST(ソーシャルスキルトレーニング)は、あくまで「全員が共通のルールを知る」ための底上げです。一人ひとりの特性や成長のスピードは異なります。そのため、全体への指導と並行して、個別の丁寧な見守りや、その子が力を発揮しやすい環境作り(環境調整)を大切にしていきます。「みんなと同じ」を目指すのではなく「みんなが自分らしく、心地よくかかわれる集団」を作っていきたいと考えています。